



心豊かにたくましく生きる子どもの育成
敬愛 互いに「よさ」を認め、思いやりの心を持つ子
剛健 すすんで心身をきたえ、明るく希望に燃える子
修学 自ら学び考え、全力を尽くす子

ホームページは
<http://www.fukui-city.ed.jp/ago-e/>



平成27年度第129回安居小学校卒業証書授与式

校長式辞 (前略)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ただ今、一人一人に卒業証書を手渡しました。この卒業証書は、6年間の小学校の課程をすべて修了したことを証明するものです。皆さんの堂々と卒業証書を受け取る姿を見て、4月から中学生になるにふさわしい態度と自覚を身につけていると感じ取ることができました。

さて、卒業生の皆さん、あなたたちとのわたしのふれあいは、わずか一年でしたが、この間、皆さんたちの活躍ぶりには目を見張るものがたくさんありました。そしてこの一年間、皆さんは安居小学校の最上級生として数々の足跡を残してきました。

集団登校の時や掃除の時間には、班長としての使命感を持ちながらも、優しく下級生の面倒を見ていました。最上級生になったということを強く意識している姿が見られました。

今までの安居小学校の中で一番良い歌を歌おうとした福井市連合音楽会。34人全員の声を信じて一生懸命練習した「友だちだから」。大会でのホール一杯に満ちたすばらしく、そして楽しい歌声。6年生の団結力を見せつけました。

何度も何度も繰り返し練習した連合体育大会。バトンをつなぐことは心をつなぐことだと知りました。同時に他の学校の人たちのことを意識したことだと思います。

そして、安居小中学校合同の体育祭では、中学生の先輩に頼ることなく、赤組青組の小学生たちをまとめ、すばらしい応援や競技を行うことができました。夏休み中の学校で、応援リーダーが一生懸命準備をしていました。夏休み明けの下級生たちへの指導の姿はとても立派でした。勝利に向けて、心を一にする難しさと、そして喜びを感じたことと思います。

6年生の皆さんが大きな成果をあげたことはたくさんあります。でも、どれもやすやすと結果が出たわけではないと思います。途中で行き詰まったり、いやになったり、心が通じなくてイライラしたこともあったことでしょう。でも、その時々の一つ一つ悩みながらもよく考え、話し合い、そして、友達を思いやって乗り越えてきたはずです。

これからの人生で、皆さんの前にいろいろな困難があらわれる時に、この経験があればきっと、乗り越えていけると思います。チャレンジしていきましょう。

さて、わたしは皆さんに「この世の中には、様々な人がいます。顔かたちの見た目だけでなく、考え方やできることが異なっている人たちがいます。言い換えれば、一人として同じ人はいないということです。ですから、この人たちと仲よくしていくためにどうしていくかが、人生の一大事です。」という話をしました。

人との「ちがいは自分の個性です。自分との「ちがいは他の人の個性です。ちがっているからこそ、他の人たちとの「同じこと」を見つけ、一緒にやって行くにはどうしたらいいかを考え、行動していける人になって欲しいと思います。そして、自分のできること、しなければいけないことに精一杯取り組んで欲しいと思います。この安居小学校で学んできた皆さんならきっとできると思います。(後略)



厳粛の中に感動のある卒業式、今回の卒業式はまさにその通りでした。卒業生の希望に満ちた態度、在校生の感謝の気持ちが込められた歌、みんなの力を合わせた卒業式でした。安居小学校に新たな伝統が誕生した一日でした。みんな大変頑張りました。